

## 三種の神器

JJ1SXA/池

三種の神器(みくさのかむだから・さんしゅのしんき)は、日本神話において、天孫降臨の時に、瓊瓊杵尊(ほのくににぎのみこと)が天照大神から授けられたという鏡・玉・剣のことである、また、神話に登場した神器と同一とされる、あるいはそれになぞらえられる、日本の歴代天皇が継承してきた三種の宝物のこと。

三種の宝物とは、「八咫鏡(やたのかがみ)」、「八坂瓊勾玉(やさかにのまがたま)」、「草那芸之大刀(くさなぎのつるぎ)を指す。

瓊瓊杵尊は天照大神(あまてらすおおみかみ)の孫、天忍穗耳尊(あめのおしほみみ)の子とされる。

現在では「八咫鏡」は伊勢神宮の皇大神宮に、「草那芸之大刀」は熱田神宮に、「八咫鏡」の形代(レプリカ)は宮中三殿の賢所に、それぞれ神体として奉斎され、「八咫瓊勾玉」とともに「草那芸之大刀」の形代は皇居吹上御所の「剣璽の間」に安置されている、皇族はもとより天皇でさえもその実見はなされておらず、多くの面が謎に包まれている。(以上、Wikipedia)

そんな恐れ多い？三種の神器とは違うが、1950年代後半、白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫の家電3品目が「三種の神器」として喧伝された。

1960年代半ばのいざなぎ景気時代には、カラーテレビ・クーラー・自動車の、3種類の耐久消費財が新・三種の神器として喧伝され、これら3種類の耐久消費財の頭文字が総て「C」であることから、「3C」とも呼ばれた。

2003年頃から2010年頃にかけて急速に普及したデジタル家電のデジタルカメラ・DVDレコーダー・薄型テレビはデジタル三種の神器と呼ばれたが、現在はこれに加え、スマホ・タブレットもお宝になりつつある。

時代は変わり、列举した品物は、ほとんどの家庭で所有されており、神器でも何でも無くなっているようだ、家電3品目の「三種の神器」時代から60年余経た今、テレビは、一人1台、車も一人1台の時代、白黒テレビ時代はガチャガチャと回してチャンネル切り替えたが、今の若者はそんなことは知らないだろうな、技術の進歩は早く、10年後、20年後は、何が三種の神器として持て囃されることやら。

さて、アマチュア無線では、三種の神器といったら何になるのだろうか？私にとっては、エレキ、縦振れ電鍵、もう一つは5/8λモービルアンテナあたりか、他にも当然マイクは必要だし、パソコンも必要アイテムだ、その他にも必需品はありそうだが、昔からあまり変化が無いのが現状。

無線機は進化して、便利機能満載で、全部の機能を使いきれていない、さりとて、昔の真空管無線機で、PLATE、DRIVEのツマミをまわしてチューンを取ることも、何十年単位でやっていないので、うまくできるかどうか覚束ない、情けない話です。